

第3章

計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

郷土の「食」を伝えていくふるさと意識あふれるまち高砂
～「からだところ」「文化と自然」「安全・安心」の3つの視点から～

市民一人ひとりが、心身ともに健康で、安全・安心の食生活を実現するためには、食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、生きていく力を身に付ける必要があります。それと共に、自然の恵みや人に対する感謝の気持ちを伝え、共に食べて、食べることの楽しさや喜びを共感することで豊かな人間形成を育むことを考えます。

本計画の基本方針を基に、市民、地域、食に関わる組織団体が協働して取り組み、「絆」で結ばれることが重要であるという観点に基づき、取組をすすめていきます。

- ㊦ たくましい「からだところ」を食を通して育て
- ㊧ 感謝の気持ちをいつも心に抱き
- ㊨ 山海の恵を大切に
- ㊩ ご飯を主食に毎日元気

2 基本方針

- (1) 食に親しみ、健全なからだところの育成
(食から学ぶ望ましい「食習慣」と「食環境」づくり)
- (2) 人と自然に対する感謝の気持ちの育成
(体験を通じて、地元の自然の恵みを知り、食と人に対する感謝の気持ちと豊かなところの育成)
- (3) 食文化の継承
(郷土の文化を通して地元の食と日本型食生活の継承)
- (4) 食品の安全性の確保と災害対策の情報提供
(安全・安心を合言葉に自然にやさしい食環境づくり)
- (5) 「食」に関する情報発信と推進体制の拡充
(食育の輪を広げ、食の大切さを次世代へ伝承)

3 計画の体系

基本理念	取組の柱	目指す姿
↳ 「からだとこころ」「文化と自然」「安全・安心」の視点から 郷土の「食」を伝えていくふるさと意識あふれるまち高砂	食から学ぶ望ましい「食習慣」と「食環境」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい栄養バランスのとれた食習慣を身につけます。 ○家族や仲間と共に楽しく、味わいながら食事をします。 ○食を通じて、マナーやコミュニケーションを学びます。 ○食の知識、体験を通して食事を作る力を育てます。
	体験を通じて、地元の自然の恵みを知り、食と人に対する感謝の気持ちと豊かなこころの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通し、農水産業や生産者の業務を理解し、人や食に対する感謝の気持ちを育てます。 ○郷土料理、地元の食材、それを使った料理を伝え、作る力を身につけます。 ○米を中心とした日本型食生活を推進します。
	郷土の文化を通して地元の食と日本型食生活の継承	
	安全・安心を合言葉に自然にやさしい食環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○食の安全性、衛生の知識を知り、食を選択する力を身につけます。 ○災害に対する食の備えについて関心を高め、取り組みを推進します。
	食育の輪を広げ、食の大切さを次世代へ伝承	<ul style="list-style-type: none"> ○市民や地域と連携し食育に取り組む組織・団体・ボランティアの活動を促進します。 ○食育活動や食に関する学習の機会を推進し、食育への関心を高めます。